オーディオ実験室収載

foQ シートによる制振（6）
―アナログ系ケーブルへの適用の追加―

1．はじめに

アナログ系ケーブルに関する foQ シートによる制振は、既に下記報告でその効果を認めてきました。

タップリベラメンテとフィルタライザーの活用（1）
タップリベラメンテとフィルタライザーの活用（2）
タップリベラメンテとフィルタライザーの活用（3）

以上の経過を踏まえて、さらに周辺の見直しを行いました。

2．アナログ系ケーブルへの foQ シート適用の試聴方法

既にフォノケーブルやトランスと iPhono の接続ケーブルについては実施済みですので、foQ シートによる制振（3)における RCA アナログケーブルへの適用の効果から次のような箇所に拡大してみました。

RCA 同軸ディジタルケーブル
iPhono→しなの音蔵プリアンプ
47 研フォノイコ 4718→しなの音蔵プリアンプ

また、foQ シートによる制振（4)における USB 機器への AC アダプターの DC ケーブルへの適用の結果から

DC 電源ケーブル次のような箇所に拡大してみました。
iPhono AC アダプターの DC ケーブル→iPhono
47 研フォノイコ 4718 専用電源ケーブル→47 研フォノイコ 4718

iPhono AC アダプターの DC ケーブルは iPhono への供給端子の入口に、4718 専用電源ケーブルは専用電源での出口の供給端子に foQ シートを巻き付けます。

3．アナログ系ケーブルへの foQ シート適用の試聴結果

アナログ再生時の foQ シート適用の効果は既に経験済みですが、音質の変化はこれまでと同じ方向でさらに増強されていることが分かります。

4．まとめ

アナログ系ケーブルの接続端子部への foQ シートの巻き付け効果をみとめました。

以上